

代 表
-----

第8回沼津市議会定例会

一 般 質 問 ( 代 表 質 問 )

令和3年3月2日、3日

順番	氏 名	要 旨 (代表質問)	答 弁 を 求 め る 者
1	志政会  25番 渡 邊 博 夫	1 基本的な考え方について (1) 本市における新型コロナウイルス感染症対策について ① これまでの取組を踏まえた今後の対応 (2) 第5次沼津市総合計画のスタートに当たる令和3年度のまちづくりの基本的な考え方について ① 令和3年度のまちづくりの基本的な考え方 ② 第5次沼津市総合計画のスタートに当たっての市長の決意 2 ヒト中心で都市的魅力にあふれるまちについて (1) 鉄道高架事業について ① 令和3年度における取組 (2) 「公共空間再編整備計画」の内容と今後の進め方について (3) 沼津版スマートシティについて ① 先端技術を活用したまちづくりの方向性 ② 取組における産学官の連携 3 地域の宝を活かすまちについて (1) スポーツを活用したまちづくりについて ① サイクリングやフェンシングを活用した具体的取組 4 環境と共生する持続可能なまちについて (1) 地球温暖化への対策について (2) 新中間処理施設の整備について ① 令和3年度における取組 5 行財政運営について (1) 財政調整基金残高並びに財政の健全性について	市 長

順番	氏 名	要 旨 (代表質問)	答 弁 を 求める者
2	自民沼津 7番 久保田 吉 光	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ヒト中心で都市的魅力にあふれるまち               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) リノベーションまちづくりについて                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① エリアリノベーションと中心市街地まちづくり戦略との関係</li> </ol> </li> <li>(2) 空き家等対策事業について                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① 空き家バンクの登録状況</li> <li>② 管理不全な空き家の除却助成</li> </ol> </li> <li>(3) 沼津版スマートシティの推進について                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① 沼津版スマートシティの定義</li> <li>② ICTを活用して解決すべき地域課題の認識</li> <li>③ 産学官の協議会の位置づけ</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2 力強い産業を牽引するまち               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 農業振興について                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① 民間事業者による農業団地整備の本市の農業政策における位置づけ</li> <li>② 荒廃農地再生や農地集積化のための取組</li> <li>③ AOI—PARCとの連携</li> </ol> </li> <li>(2) 森林資源の保全と活用について                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① 森林経営管理制度の趣旨</li> <li>② 基礎調査と全体計画の策定の時期</li> <li>③ 荒廃森林の保全活用の方法</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3 地域の宝を活かすまち               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高尾山古墳について                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① 国史跡指定に向けた取組</li> <li>② 国史跡指定の可能性</li> <li>③ 古墳整備後の活用方法</li> </ol> </li> <li>(2) 文化財散策のためのまちあるきマップについて                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地区を限定した理由</li> <li>② 文化財の紹介方法</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4 安心して子どもを産み育てられるまち               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校教育の地域との連携について                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校運営協議会モデル地区での1年目の成果と課題</li> <li>② コミュニティスクールが目指すゴール</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>	市長 教育長

順番	氏名	要旨（代表質問）	答弁を 求める者
3	市民クラブ 8番 霞 恵介	<p>1 基本的な考え方について</p> <p>(1) 東都大学沼津ヒューマンケア学部看護学科と沼津市立看護専門学校について</p> <p>① 大学開設後の沼津市立看護専門学校の役割・位置づけ</p> <p>2 自分らしいライフスタイルを実現できるまちについて</p> <p>(1) 多文化共生社会の実現へ向けた在住外国人への日本語教育の充実・強化について</p> <p>(2) ぬまづの宝100選について</p> <p>① ぬまづの宝100選を活用した取組の目的と効果</p> <p>② さらに周知の必要性和取組</p> <p>3 ヒト中心で都市的魅力にあふれるまちについて</p> <p>(1) 鉄道高架事業による高次都市機能とまちづくり戦略との融合について</p> <p>(2) 沼津版スマートシティの推進体制と市民との連携について</p> <p>4 力強い産業を牽引するまちについて</p> <p>(1) 市内企業への再就職支援について</p> <p>① 実施の目的と内容</p> <p>② ぬま j o b など既存の事業との違いや位置づけ</p> <p>③ ハローワーク沼津との連携</p> <p>5 地域の宝を活かすまちについて</p> <p>(1) スポーツを活用したにぎわいのまちづくりの推進について</p> <p>① フェンシング競技で沼津在住のオリンピックを輩出するための取組</p> <p>② アスルクラロ沼津への支援の見通し</p> <p>6 安心して子どもを産み育てられるまちについて</p> <p>(1) 仕事と子育ての両立支援について</p> <p>① 仕事と子育ての両立を支援する放課後児童クラブの待機児童解消</p> <p>② 民間幼稚園の認定こども園化の現状と今後の取組</p> <p>(2) 未来を担う子どもたちの教育について</p> <p>① 新しい学びを支えるICT教育充実に向けた課題と支援の体制づくり</p> <p>② コロナ禍の影響で自宅待機となった児童生徒の学習支援</p> <p>(3) 学校給食費の公会計化について</p>	市長 教育長

順番	氏名	要旨（代表質問）	答弁を 求める者
		<p>① 新設される学校給食室の役割と課題解決</p> <p>7 笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまちについて</p> <p>(1) ワクチン接種を短期に進める上での安全・安心のメッセージについて</p> <p>8 安全・安心のまちについて</p> <p>(1) 避難生活に必要な資機材の整備の目的と配置の考え方について</p> <p>(2) 感染症対策を踏まえた避難する場所の確保について</p> <p>(3) 地域防災力のさらなる向上を図るための人材の活用について</p> <p>(4) 地域防犯対策として事業者と連携した見守り活動について</p> <p>9 環境と共生する持続可能なまちについて</p> <p>(1) ごみの減量と資源化の促進について</p> <p>10 行財政運営について</p> <p>(1) 先端技術を活用した次なるDX（デジタル変革）の在り方について</p>	

順番	氏 名	要 旨 (代表質問)	答 弁 を 求 め る 者
4	公明党 5番 小 泉 宣 子	1 基本的な考え方について (1) コロナ禍に対する市長の決意 2 安心して子どもを産み育てられるまちについて (1) 地域総がかりで支えるまちづくり (2) 若者の未婚化等の抑制及び少子化傾向の改善 (3) 妊娠期から子育て期にわたる支援 (4) 仕事と子育ての両立支援 (5) 学校規模・学校配置の適正化 3 笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまちについて (1) 人生100年時代を見据えたまちづくり (2) 地域活動支援センターの開設 (3) 成年後見支援センターの設置 (4) 手話やろう者等に対する理解の促進 (5) 生活困窮者への支援 4 安全・安心のまちについて (1) 防災対策 5 環境と共生する持続可能なまちについて (1) 環境と共生する持続可能なまちに対する市長の認識 6 行財政運営について (1) 予算編成 (2) 組織体制 ① 障害者基幹相談支援センターの新設 ② 空き家対策係の新設	市 長 教 育 長

順番	氏 名	要 旨 (代表質問)	答 弁 を 求める者
5	立憲沼津 15番 梅 沢 弘	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 新年度の主な取組について</p> <p>① 柱2「ヒト中心で都市的魅力にあふれるまち」</p> <p>ア 沼津駅鉄道高架訴訟一審判決の結果を踏まえた鉄道高架事業に対する市長の認識</p> <p>イ 鉄道高架事業とヒト中心で都市的魅力にあふれるまちづくりとの整合性</p> <p>ウ 鉄道高架事業とまちなみ景観</p> <p>エ 空き家対策</p> <p>② 柱4「地域の宝を活かすまち」</p> <p>ア スポーツを生かしたまちづくり</p> <p>イ 沼津港の景観PR</p> <p>③ 柱6「笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまち」</p> <p>ア PCR検査体制の拡充</p> <p>イ 生活困窮者への住居確保支援</p> <p>④ 柱7「安全・安心のまち」</p> <p>ア 感染症対策を踏まえた避難所運営</p> <p>イ 避難行動計画</p> <p>⑤ 柱8「環境と共生する持続可能なまち」</p> <p>ア 再生可能エネルギーの拡充に向けた取組</p> <p>イ 温室効果ガスの発生抑制に向けた取組</p> <p>ウ 3R推進事業と新中間処理施設整備</p> <p>エ 自然環境の保全</p> <p>(2) 行財政運営について</p> <p>① コロナ禍による国の財政悪化を踏まえた本市財政に対する市長の認識</p> <p>② 鉄道高架事業と財政運営の変更</p>	市 長

順番	氏 名	要 旨 (代表質問)	答 弁 を 求める者
6	日本共産党沼津市議団 28番 川 口 三 男	1 第5次沼津市総合計画（10年間）に基づくまちづくりの初年度、令和3年度施政方針について (1) まちづくりの協働者である市民に分かりやすいまちづくりの内容と目標等の認識 (2) コンパクトシティ、沼津版スマートシティ及び県東部広域拠点都市の関連と内容 (3) 第5次沼津市総合計画期間終了後の本市の人口構造及び人口推移と市税収入等についての認識 (4) コロナ禍後の新しい生活様式を踏まえた市民の暮らしの安定を図る施策 (5) 公共施設の老朽化の対応や企業会計等への繰出金及び市債残高等の現状の評価と鉄道高架事業を見据えた市財政の今後の認識	市 長
7	未来の風 18番 山 下 富美子	1 市政運営に対する基本的な考え方について (1) コロナ禍での令和2年度の対応と評価 (2) コロナ禍での令和3年度の予算編成に当たり他市との比較及び評価 (3) 令和3年度のコロナ禍での取組 ① 令和2年度から引き続く取組とその財源 ② 令和3年度の新たな取組とその財源 ③ 生活困窮者への支援 2 学校給食費の公会計化について (1) 新たな業務への取組 3 第5次沼津市総合計画の初年度に当たり検証した事業の必要性や費用対効果等について 4 新中間処理施設の整備計画及び屋内温水プールの新施設の整備に向けた取組について (1) 両施設の整備計画と財源確保への考え方 5 行財政運営について (1) 一般会計の減について	市 長 教 育 長

順番	氏 名	要 旨（代表質問）	答 弁 を 求 め る 者
8	無所属 4 番 大 場 豪 文	<p>1 新年度の主な取組について</p> <p>(1) 自分らしいライフスタイルを実現できるまちについて</p> <p>① コロナ禍を踏まえた活力ある協働のまちづくり推進</p> <p>(2) ヒト中心で都市的魅力にあふれるまちについて</p> <p>① 中央公園の現状とさらなる魅力</p> <p>(3) 力強い産業を牽引するまちについて</p> <p>① 本市中心市街地で行っているリブランディングの取組</p> <p>(4) 地域の宝を活かすまちについて</p> <p>① サイクリングの観光プランの取組</p> <p>② 原・戸田地区における文化財散策マップの有用性</p> <p>(5) 安心して子どもを産み育てられるまちについて</p> <p>① ICT活用による教育を行う教職員の研修とサポート</p> <p>(6) 笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまちについて</p> <p>① 市民に不安を与えない新型コロナウイルス感染症への対応</p> <p>(7) 安全・安心のまちについて</p> <p>① 沼川・高橋川流域地区の取組</p> <p>② 感染症拡大の状況下での避難勧告による宿泊施設利用</p> <p>(8) 環境と共生する持続可能なまちについて</p> <p>① ごみ分別アプリ及びごみの出し方便利帳の取組</p> <p>② 自然環境の保全の取組</p> <p>2 行財政運営について</p> <p>(1) 健全な財政運営</p>	市 長 教 育 長